

## アッセンブリッジ・ナゴヤ 2018、いよいよ開幕！



### 今年も港まちを舞台に、音楽とアートがあふれます

アッセンブリッジ・ナゴヤは2016年よりスタートし、名古屋の港まちを舞台にした音楽と現代美術のフェスティバルです。

音楽やアートが架け橋となり、まちと人が出会い、つながりが生まれ、新たな文化が育まれていくことを目指しています。コンサートホールや美術館ではなく、いつものまちが会場となり、名古屋の港まちの日常に音楽やアートが溶け込み、創造性溢れる場所から風景が動き出していきます。

[アッセンブリッジ assemble] とは、「集める」「組み立てる」などの意味をもつ [アッセンブル assemble] と、[ブリッジ bridge] を組み合わせた造語です。

#### 期間

**2018.10.6 (土) - 12.2 (日)**

会期中の木曜、金曜、土曜、日曜、祝日開催

#### 会場

**名古屋港～築地口エリア一帯**

#### ●主催

アッセンブリッジ・ナゴヤ 実行委員会

構成団体 | 名古屋市、港まちづくり協議会、名古屋港管理組合、公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団、公益財団法人名古屋市文化振興事業団

#### ●企画体制

アートプログラムディレクター | 服部浩之、青田真也、吉田有里 音楽プログラムディレクター | 岩田彩子

コーディネーター | 谷口裕子 アーキテクト | 米澤 隆

デザイン | 溝田尚子、中西要介 (STUDIO PT.)、根津小春 (STUDIO PT.)、岡田和奈佳

ウェブデザイン | 石垣嘉洋 広報 | 大泉愛子

●ウェブ | [www.assemblebridge.nagoya](http://www.assemblebridge.nagoya)

お問い合わせ | アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会事務局

〒455-0037 名古屋市港区名港 1-19-18 3F

TEL / FAX | 052-652-2511 E-mail | [press@assemblebridge.nagoya](mailto:press@assemblebridge.nagoya)

●Facebook | <https://www.facebook.com/assemblebridge.nagoya>

●Twitter | <https://twitter.com/assemblebridge>

●Instagram | <https://www.instagram.com/assemblebridge.nagoya/>



# イベントのみどころ

## MUSIC 音楽

### ●聴くだけではない、音楽の見方、各分野と音楽の関係を探る

まちなかで行なわれる“コンサート”に出会うという機会の創出だけでなく、まちなかに音楽の環境がやってきたことに関わることで生まれるものを創出していきたいと考えています。

リベラルアーツやSTEAM教育の声が高まり、芸術の力が注目される今、芸術を生活に取り込む方法を、みなとまちから発信していきます。これまで行ってきたコンサート展開に加え、世界の音楽教育の第一人者による講座、大学の先生方による市民講座など、コンサートを聴くだけではない、音楽の見方、または各分野と音楽の関係を、来場者とともに探っていきます。

### ●港まちに「暮らし」ながら音楽を奏でる滞在型プロジェクト

“レジデンス・アンサンブル”として、滞在型のアーティストの受け入れをします。

彼らと、プログラムの展開を話し合い、構築していきます。奏者自らが、みなとまちに滞在しながら、日々の演奏活動を展開することで、音楽だからできることを一緒に考えていき、次世代の演奏家を育てる機会になればと思っています。

## ART アート

### ●2年に渡り港まちに介入するプロジェクトを展開

名古屋港界隈には、下町らしい生活や営みを感じる小さな商店や住宅から港湾の特徴のある景色までが混在しています。2年に渡りアーティストが長期的にこのまちに関わり、港まちの歴史や風景の特徴をリサーチし、プロジェクトを展開しながら新作を制作します。

またアーティストによるトークイベントなど、港まちを楽しむプログラムを多数開催します。

### ●港まちの移りゆく景色をキーワードに

アッセンブリッジ・ナゴヤがスタートして3年を迎えますが、商店街の商店の閉店や、空き家や空き地の増加、また新たなビルの建て替えなど、港まちの風景は動き続けています。アーティストユニット・L PACK.とともにカフェを中心に港まちの社交場として開いてきた《UCO》が取り壊されることをきっかけに、地域や社会に対してアートがアクションすることを考えるトークイベントや、社交場としての機能を最大限に生かしたイベントを企画しています。

## SOUND BRIDGE サウンド・ブリッジ

### ●国内外で活躍するアーティストが港まちならではのパフォーマンスを発表

Aokid、山下残、石若駿、浅井信好ら、国内外で活躍するアーティストが、港まちならではのパフォーマンスを発表します。

大学で映画を専攻し、ブレイクダンス、シアターピース、パフォーマンス、ドローイングなど、複数の表現手法を巧みに操るAokidが初来港し、まちにドラマを生み出します。

斬新な切り口で独自のダンス作品を発表してきた山下残は、2019年のアッセンブリッジ・ナゴヤでの新作発表に向けて動き出しています。今年はクリエイションのほか、山下残の仕事を紹介する企画を実施予定です。

新進気鋭のジャズドラマー・石若駿とこれまで世界35カ国150都市以上で公演を重ねてきた舞踏家・浅井信好が、初めての即興セッションに挑戦します。

# MUSIC

## 港まちに散りばめられた音楽を味わう2ヶ月間

第3回を迎える今回は、まちなかで行われるコンサートに出会うという機会の創出だけでなく、「まちなかに現れる音楽空間」に関わることで生まれるものを「奏者と観客で共有」していきます。音楽の聴き方、楽しみ方の提案や、演奏家自身も音楽の役割、音楽で繋がる世界を模索していきます。

企画 | 岩田彩子

音楽アドバイザー | 川北真紀子



### ピックアップ企画

#### みなとアクルス presents フランソワ・サルク × 成嶋志保 リサイタル

桁外れのカリスマチェリストと、フランスと日本で育まれたピアニストの繊細で優雅な音色が港の夜を彩る。

10.27 (土) 19:00-20:00

会場 | ポートハウス

出演 | フランソワ・サルク (Vc)、成嶋志保 (Pf)

曲目 | G.フォーレ: エレジー

R.シューマン: 幻想小曲集 作品73

F.ショパン: チェロソナタ 作品65

サポーター席 | ¥1,500 \*ブリッジバス付

サポーター席とはアッセンブリッジ・ナゴヤ2018の趣旨に賛同いただいた方にご用意するお席です。どなたでもご購入いただけます。

\*未就学児入場不可



フランソワ・サルク



成嶋志保

### レジデンス・アンサンブルプロジェクト

公募で選ばれた2団体が港まちで10日間ずつ、実際に「暮らし」ながらさまざまな場所で演奏を繰り広げます。\*公開練習を予定(観覧自由)。

小西・中村特許事務所 presents

#### 成嶋志保 × シャルロツテ カルテット ジョイントコンサート

10.28 (日) 15:00-16:00

会場 | ポートハウス

曲目 | R.シューマン: ピアノ五重奏曲、C.ドビュッシー: 弦楽四重奏

入場 | 無料



シャルロツテ カルテット

京都市立芸術大学生

下宮早葵 (Vn)、山森温菜 (Vn)、

木田奏帆 (Va)、塚本ひらき (Vc)

レジデンス期間 | 10.22 (月) -10.30 (火)

#### マルク・ケネル × クインテット レガロ 公開講座 & ミニコンサート

演奏家しか知らないクラシック音楽の秘密をスイスとフランスで活躍するピアニスト、音楽教育家のケネル先生が明らかにします。

11.17 (土)

第1部 | 11:00-12:00

子ども~初級者向け講座「音楽の聴き方、楽しみ方」\*小学生以上対象

第2部 | 14:00-15:30

中級者向け講座「音楽のレッスン大公開」\*一般対象

会場 | 名古屋港ポートビル

講座使用曲 | M.ラヴェル: クーブランの墓より

G.リゲティ: 6つのバガテルより (ほか)

コンサート曲目 | N.ロータ: 小さな音楽の贈り物、C.ドビュッシー: 小組曲

入場 | 無料



クインテットレガロ

東京藝術大学院生

鈴木美良乃 (Fl)、斐紗蘭 (Ob)、

福井萌 (Cl)、梅島光立 (Hr)、

安井悠陽 (Fg)

レジデンス期間 | 11.8 (木) -11.17 (土)



## プロジェクト

## 『パノラマ庭園 - 移ろう地図、侵食する風景 -』

2016年より続くタイトル「パノラマ庭園」のもと、会場となる港まちエリアをひとつの「庭」に見立て、作庭するようにまちにアーティストが入り込んでいきます。

2018-19年では、2年に渡り継続するプロジェクトとして、「地図」や「風景」をキーワードに、港まちのこれまで、そしてこれからと移り行く様相そのものについて探求していきます。

「地図」は現在地を示す記号的側面とともに、土地の移り変わりを記録（アーカイブ）する機能を持ち合わせます。

アッセンブリッジ・ナゴヤがスタートして3年を迎えますが、その間も港まちの風景は動き続けています。数多くの商店が閉店し、家屋が取り壊されると同時に、新たな建物がつくられながらもなお、空き地や空き家は増え続け、まちの風景は刻々と変化しています。

2016年からアーティストユニット・L PACK.を中心にさまざまな人びととともに「まちの社交場」として開いてきた「UCO（旧・潮寿司）」や、2015年に手芸店を改修しウィンドーギャラリーとして継続的に展示を行っている「Botão Gallery」、その並びの展示スペース「つむぎ（旧・いずみや染物店）」、この連なる3軒も2018年10月をもって閉鎖し、2018年末までに取り壊されることが決まりました。

そのようなまちの変化を受け止めながらも小さなアクションを起こし続け、その変化を記録し思考する媒体・プラットフォームとして、アートを軸に据えたプロジェクトを時間をかけて紡いでいきます。

今年は「UCO」のこれまでの活動に焦点をあてながら、これからどのようにその活動を続けていくかを模索し、記録や変容などその経過を公開します。また2019年秋に新作を発表予定のアーティストのこれまでの作品や、始動しているプロジェクトの断片を紹介します。

企画 | 服部浩之、青田真也、吉田有里



## アーティスト

碓井ゆい、L PACK.、山本高之

## 開催概要

会期 | 2018.10.6（土） - 12.2（日） [\*ただしUCOは10.28（日）まで]

会期中の木曜、金曜、土曜、日曜、祝日開場

開館時間 | 11:00-19:00 休場日 | 月曜、火曜、水曜

会場 | 港まちポットラックビル、UCO（旧・潮寿司） 入場無料

## イベント

## ●シンポジウム「地域美学スタディ」

vol.8 「UCOラウンドテーブル：場所をつくること／継続すること」

10.6（土）17:00-19:00

ゲスト | 小山田 徹（アーティスト）

篠原雅武（京都大学非常勤講師／哲学・公共空間論・環境思想）

vol.9 「UCOラウンドテーブル：残すこと／記録すること」

10.7（日）14:00-16:00

ゲスト | 佐藤知久（京都市立芸術大学准教授／文化人類学）

矢口克信（現代美術家）

## ●碓井ゆい「アーティストトーク」 10.6（土）16:00-16:30

## ●L PACK.「たとえば、いつもより早く起きて港街でモーニングを食べてみるとする。」

10.7（日）7:00-10:00、10.28（日）7:00-10:00

## ●UCOマーケット「Container Yard Market vol.2」 10.20（土）11:00-17:00

## ●UCO最後の3日間 10.26（金）-10.28（日）11:00-22:00

## ●山本高之「リサーチワークショップ・公開ミーティング」 11.10（土）14:00-16:00



写真上から、碓井ゆい《Empty names》2013 写真 | ミヤギフトシ、L PACK.《UCO》2016- 写真 | 怡士鉄夫、山本高之《山月記》2016

# SOUND BRIDGE

## 音楽 / アート / パフォーマンス / カルチャー 港まちを資源としてとらえ広がる、分野横断型プログラム。

さまざまなジャンルの音楽やアート、パフォーマンス、カルチャーなど、分野を横断しながらまちに広がるサウンド・ブリッジ。

日常ではなかなか気づくことのない、たくさんの「もの」や「できごと」が港まちにもあふれています。アーティストとともに見つけたこのまちの資源をもとに、まちや空間を体感し、多様な世界観に触れるプログラムを展開します。



### ピックアップ企画

#### Aokid OVER THE RAIN boy

踊ったり、歌ったり、何かに触ったり、その場でふるまいを探したり、時に対話をしながら進むストーリー。「下見をした日は雨でした」。港まちで見聞きしたものがAokidの経験に重なりあい、それぞれの出来事は関連して、自立して、集まった人々との関係の中で変容していきます。

10.20 (土)

- ①11:30-11:45 会場 | 築地公設市場
- ②14:30-15:15 集合 | 水族館南側緑地
- ③17:30-18:10 会場 | UCO (旧・潮寿司)

出演 | Aokid

参加費 | 無料 (③のみ要ワンドリンクオーダー)

定員 | ③のみ20名 (予約不要、定員になり次第受付終了)



#### 山下 残 大行進

2010年初演、山下残の代表作『大行進』をかつてモダンなカフェとして賑わった旧・喫茶店千代田にて上演します。言葉が発せられ、身体が動き、物語が起こり、ダンスが生まれる。斬新な切り口で構成される山下 残の作品は、ダンスの既成概念を覆します。そして今年より開始するリサーチと制作を経て、2019年には港まちで新作を発表します。

11.9 (金) - 11.11 (日) 19:00-19:30

会場 | 旧・喫茶店千代田

演出・出演 | 山下 残

美術 | カミイケタクヤ

定員 | 各回20名 (予約不要、定員になり次第受付終了)

参加費 | 無料 (別途ブリッジバスが必要になります)

\*会場が変更となる可能性があります。詳細はウェブサイトをご覧ください。



#### 石若 駿 × 浅井信好 ライブセッション

元寮の空間にて、ドラマー・石若駿とダンサー・浅井信好による回遊型ライブ。

石若駿はドラムセットを中心に自身が今考える打楽器の表現を用い、浅井信好は高い集中力の身体表現を用いて、それぞれが空間とお互いの表現に呼応しながら、パフォーマンスを生み出していきます。この場かぎりの時間と空間を存分に使った音とダンスのセッションです。

11.17 (土) 19:00-21:00

会場 | 旧・名古屋税関港寮

出演 | 石若 駿、浅井信好

定員 | 40名 (予約不要、定員になり次第受付終了)

入場 | 500円、別途ブリッジバスが必要になります



### ART「UCO最後の3日間」連携企画

#### Gofish UCOの裏庭ライブ

10.26 (金) 19:30-

会場 | UCO (旧・潮寿司) の裏庭

出演 | Gofish

定員 | 30名 (予約不要、定員になり次第受付終了)

参加費 | 無料 (別途ブリッジバスとワンドリンクオーダーが必要になります)

[カレーの販売を行います] 18:00- \*限定30食

テライシヨウタの「カレーミーティング」がUCOに出張。カレーの販売を行います。



#### 角銅真実 こんにちはのうしお

10.28 (日) 18:30-19:30

会場 | UCO (旧・潮寿司)

出演 | UCO、角銅真実、横手ありさ

空間構成 | 山城大督

定員 | 20名 (予約不要、定員になり次第受付終了)

参加費 | 無料 (要ワンドリンクオーダー)



# SOUND BRIDGE

## アーティスト

### Aokid (ダンサー・アーティスト)

ブレイクダンスをルーツに、シアターピースやパフォーマンス、イベント企画のほか、ドローイングやインスタレーションの制作を行う。他分野のアーティストとの共同制作も多数。2016年『フリフリ』で横浜ダンスコレクション コンペティション I 審査員賞受賞。



Aokid

### 浅井信好 (振付家/舞踏家)

ストリートダンサーとして国内外のコンテストで優勝。数々のアーティストの振付を行う。2005-2011年山海塾に所属。2011年に文化庁在外研修員としてイスラエルのパットシェバ舞踏団へ派遣。2016年に帰国後、名古屋を拠点に「月灯りの移動劇場」を主宰。ダンスハウス「黄金4422BLDG.」の設立を行う。



浅井信好

### 石若 駿 (ドラマー)

幼少からクラシックに親しみ、13歳よりクラシックパーカッションを始める。これまでに日野皓正、ジェイソン・モラン、コーリー・キングなど数々のアーティストと共演。2018年、くるりのライブサポート、レコーディングにも参加。ジャズを中心にクラシック、現代音楽、新曲の初演も行う。



石若 駿

### 角銅真実 (音楽家・打楽器奏者)

長崎県生まれ。打楽器、自身の声を用いて、バンドceroをはじめとする様々なライブサポート、作品制作に携わるほか、CM、映画、ダンス作品の音楽制作など、作家としての自由な表現活動を国内外で展開している。



角銅真実

### Gofish (シンガーソングライター)

名古屋を拠点に活動するハードコア・バンド「Nice View」のテライショウタによるソロ・ユニット。バンドとは異なるアコースティックギターと歌声によるシンプルな構成での温かいアンサンブルが特色。



Gofish

### 山下 残 (振付家・演出家)

1990年代より実験的で野心的な舞台作品の発表を続ける。代表作に、100ページの本を配り観客がページをめくりながら本と舞台を交互に見る『そこに書いてある』、スクリーンに映写される呼吸の記号と俳句のテキストを身体とあわせて見る『せきをしてもひとり』など。『せきをしてもひとり』で京都芸術センター舞台芸術賞受賞。



山下 残

### 横手ありさ (シンガーソングライター)

確かな歌唱力と豊かな表現力でさまざまなグループへボーカリストとして参加。舞台作品への楽曲提供、障害のある子供達との音楽交流やワークショップ、アジア各地へのフィールドワーク、島唄の唄い手など、活動範囲は多岐に渡る。



横手ありさ



# TICKET

チケットは以下の窓口で取り扱っております。（サポーター席含む）  
ご予約は公演前日19:00まで、各取り扱い場所の営業時間内に限ります。

## ・名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL | 052-249-9387（ナディアパーク8F）

営業時間 | 平日 9:00-17:00

その他、事業団が管理する21の文化施設窓口でも取り扱っています。

（土曜、日曜、祝日も営業）\*工事休館等がありますので、ウェブサイトでご確認ください。

## ・芸文プレイガイド ◆サルク×成嶋リサイタルのみ取り扱い

TEL | 052-972-0430（愛知芸術文化センター地下2F アートプラザ内）

営業時間 | 平日 10:00-19:00 土曜、日曜、祝日 10:00-18:00

月曜定休（月曜が祝日の場合は翌日）

## ・アッセンブリッジ・ナゴヤ事務局

窓口 | アッセンブリッジ・ナゴヤ総合案内（港まちポットラックビル）

開館時間 | 11:00-19:00（水曜-日曜、祝日）

## ・WEB | PassMarket（Yahoo!JAPANデジタルチケット）

[goo.gl/GPru2X](https://goo.gl/GPru2X)

## ●ブリッジパス ¥500

トークイベントなどに参加するための音楽・アート共通のパスです。会期中、総合案内やイベント会場でご購入いただけます。

- ・ご本人に限り会期中何度でも利用可。
- ・中学生以下無料。
- ・障害者手帳をお持ちの方と付添の方2名まで、手帳ご提示で100円引き。



## 広報画像の使用について

本プレスリリース内の画像を掲載する場合は、下記へお問い合わせください。

[press@assemblebridge.nagoya](mailto:press@assemblebridge.nagoya) [www.assemblebridge.nagoya](http://www.assemblebridge.nagoya)（プレス窓口）